

2024年度12月ミニ展示「児童書に見る戦前の日本の暮らし」

展示説明文

今回のミニ展示では、子供向けに書かれた「日本の暮らし」に関する資料を10点紹介します。内容は、地理書、生活文化、子供達の日常生活が綴られた作文集、年中行事や風習について書かれた歳時記、建築物、景勝地について書かれたものです。それぞれの本の著者達は、表現は異なりますが、本で得た知識を自分たちが生きていく上で活かして欲しいと願って本を執筆したことを序で記しています。

これらの資料から、戦前の日本の暮らしと、その日常の中で日々成長していった子供達に思いを馳せていただければ幸いです。

① 『児童科学地理叢書』第1編～第3編

第1編「河川・湖沼・氷河・海洋・運河」

第2編「山岳・火山・高原・溪谷・地震」

第3編「人種・風俗・人情・言語・宗教」全3冊

こばやしふさたろう

小林房太郎(1872-1937)監修

東京 有文書院刊行

第1編:1933(昭和8)年12月18日発行

第2編:1934(昭和9)年1月18日発行

第3編:1934(昭和9)年4月8日発行

請求記号:ルイ2-950ア～ウ

著者小林氏は、地理を学ぶ目的は、河川、山岳、海洋、産業、人類、村落都会等の地理的事象を、ただ、ありのままに見るのではなく、例えば、河川はどのように利用されているのか等、科学的に研究し、その成果を生活に利用し活用することにあると考えた。本書は、この考えに基づき、地理的事象についてまとめたもの。

② 『我等の国土』

たなかけいじ

田中啓爾(1885-1975)著

東京 古今書院刊行

1929(昭和4)年11月20日発行

請求記号:ルヨ2-3

著者田中氏は、1923(大正12)年以後7年間かけて、北海道から台湾まで実際に現地を訪れ、見聞したことを平易に記した。序に「新しい地理的考察法も理解して頂きたくて」とあるが、地理学の調査は、現地における聞き取り調査が大切だと説いた。

③ 『生活文化史の話』

みねじみつしげ

峰地光重(1890-1968)著

東京 弘学社刊行

1941(昭和16)年3月25日発行

請求記号:ルユ2-450

著者峰地氏は、生活綴方教育を行う中で、生活そのものを教育とする「生活学習」を実践していたが、後に、科学的な見方を新たな要素として加えた郷土における「生活学習」である「郷土教育」を行った。本書は、先の教育を実践していく上で、各地の生活文化に関する資料を集め、紹介したもの。

④ 『綴方子供風土記』

つばたじょうじ

坪田譲治(1890-1982)編纂

のまひとね

野間仁根(1901-1979)装幀(画)

東京 実業之日本社刊行

1942(昭和17)年7月10日発行

請求記号:ルカ2-604

第二次世界大戦中だからこそ、日本の伝説や行事、日常生活を記録し遺しておかなくてはならないと編纂者の坪田氏は考え、全国の子供達から送られた2,401篇の作品の中から選んだ53篇を掲載した。

⑤ 『風習の話』

のせひろあき

野瀬寛顕(1898-1979)著

東京 厚生閣刊行

1939(昭和14)年12月17日発行

請求記号:ルラ2-210イ

著者野瀬氏は、1939(昭和14)年当時、世界における日本人としての立場を考える際に、先人が苦心の末に遺した「風習」を振り返ることがその手がかりとなると考えこの本を執筆した。

⑥ 『郷土学習文庫 第4巻 郷土文化研究(上) 生活交通』

「衣服とはきもの」

「たべものとのみもの」

「家と火」

「道」

「船車と航空」 全5冊

しがきひろし

志垣寛(1889-1965)著

東京 文化書房刊行

昭和8(1933)年4月15日発行

請求記号:ルラ2-33エア～エオ

著者志垣氏は、自分たちの住んでいる郷土を知るためには、その自然、社会、文化について知る必要がある、この知識を、郷土をもっとよくするためにはどうしたらよいのか考えていく上で役立てて欲しいと願い、生活と交通について5つテーマにわけて執筆した。

⑦ 『日本の家』(少国民日本文化選書)

ふじしまがいじろう

藤島亥治郎(1899-2002)著

いづかれいじ

飯塚玲児(1904-2004)画

東京 小学館刊行

1943(昭和18)年3月5日発行

請求記号:ルラ4-52ア

「邦雄」という少年が、自宅が造られていく過程を見ているうちに、建築物への興味を抱き、鎌倉、伊勢、奈良、京都の古建築を見学に行くという設定で、日本の代表的な建築物と民家

を紹介した本。

⑧ 『日本のお祭』(少国民日本文化選書)

にしつのいまさよし

西角井正慶(1900-1971)著

たてのみちまさ

立野道正(1894-1948)画

東京 小学館刊行

1943(昭和18)年12月15日発行

請求記号:ルラ4-52イ

神道を中心に、地方の特色のあるお祭りや行事についても紹介した本。

⑨ 『日本の山水美』(趣味の地理 第1編)

しらいきいち しまだうしわか

白井規一, 島田牛稚共著

東京 博文館刊行

1918(大正7)年9月25日再版発行

初版:1918(大正7)年4月27日発行

請求記号:ルヨ2-953ア

富士山、立山、阿蘇山等の山々、日光の華嚴の滝、十和田湖、耶馬溪等の川や湖の景勝地について、自身の経験(登山)や書物で読んだ知識をもとにまとめたもの。

⑩ 『日本の名所見物』(趣味の地理 第3編)

しらいきいち しまだうしわか

白井規一, 島田牛稚共著

東京 博文館刊行

1918(大正7)年7月28日発行

請求記号:ルヨ2-953ウ

鎌倉、善光寺、伊勢神宮、道後温泉等日本の著名な名所旧跡を紹介した本。この本を読んで名所旧跡について研究して欲しいと書かれている。